

平成30年度看護系大学FD企画者研修実施要項

1. 目的

地域包括ケアシステムの構築が進む中、次世代の看護職を育成する上で、地域のさまざまな保健医療施設と看護系大学の連携の重要性が高まっています。毎年約10校のペースで大学の新設が続く中、看護系大学教員には、変化する看護職の役割を踏まえ、看護を学問として体系的に教授する能力が強く求められています。

平成19年の大学設置基準の改正以来、各看護系大学では、すでにさまざまなファカルティ・ディベロップメント（以下FDとする）が行われていますが、看護および看護学の特質を踏まえ、自大学の実情に見合ったFDを体系的に企画・実施・評価することのできるFD企画者養成へのニーズが、ますます高まっております。

このような背景を踏まえ、「看護学教育研究共同利用拠点 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践教育指導センター」では、平成29年度から「看護系大学FD企画者研修」を開催しております。本研修は、当センターの中核事業である「看護学教育の持続的質改善（CQI：Continuous Quality Improvement）モデルの開発と活用推進」事業の一環として開催するものであり、組織分析を通して自大学の課題を特定し、看護および看護学の特質を踏まえ、自大学の実情に見合った体系的なFDを企画・実施・評価できるFD企画者（FDer）としての能力を身につけることを目的としています。

なお、本研修では、当センターがこれまでに開発した、「看護系大学におけるFDマザーマップ」およびそれに関連する各種FDコンテンツの活用方法についても学ぶことができます。教員の能力開発を通じた教育の質改善に自律的に取り組む意思のある看護系大学教員の方々のご参加をお待ちしております。

2. 主催・実施

看護学教育研究共同利用拠点

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター

3. 研修期間・研修内容

研修Ⅰ

平成30年7月22日（日）10：00～12：00、13：00～16：00の5時間

研修Ⅱ

平成30年8月22日（水）～8月24日（金） 3日間

研修Ⅲ

平成31年2～3月中のいずれか1日のうち5時間（10：00～12：00、13：00～16：00）

（受講決定後、受講者との相談によって実施日を決定します）

（研修内容は別紙1のとおり）

4. 会場

千葉大学大学院看護学研究科・看護学部（千葉市中央区亥鼻1-8-1）

5. 受講対象者

看護系大学教員のうち、組織においてFDを推進する立場にあり、所属大学の看護学部・学科長等の管理者から推薦を受けた方とします。組織的なFDを推進するため、原則として、2名1組での推薦をお願いします。職位は問いませんが、FD委員会メンバー等、組織においてFDを推進する役割を持つ（もしくは今後持つ予定）の方に限ります。

なお、ご応募は、全日程参加できる方に限ります。（特に、研修Ⅰ・研修Ⅱは日時が決まっておりますので、ご注意ください。）

6. 受講定員

5組（10名）程度

（受講者は原則として1大学2名1組とさせていただき、定員を超える大学からご応募があった場合は、看護系大学としての設置年度、取り組みたいと考えている課題の明確さ及び緊急性、組織全体・社会への波及効果、課題解決に向けた準備状況等を総合的に勘案し、採否を決定させていただきます。）

7. 応募方法

本年度よりweb申込みとなります。

- ① 当センターホームページ (<https://www.n.chiba-u.jp/center/>) の看護学教育指導者研修申し込みフォームより平成30年5月14日(月)17時までにお申込みください。
- ② お申込みには、併せて「受講適任者推薦票」のご提出が必要となります。
「受講適任者調査票」（別紙2）は、センターホームページよりダウンロードの上、必要事項を漏れなく記入してください。
 - ・送付につきましては、PDF添付にて「指定パスワード」を設定してください。
 - ※指定パスワードは、申し込みフォームに記載されています。

8. 決定通知

受講者の決定については、

- ・お申し込みいただきました際の勤務先アドレスに平成30年5月25日(金)までにメール通知いたします
- ・決定通知（推薦者宛）・必要書類（実施案内・受講料振込方法等）については、平成30年6月初旬までに送付させていただきます。

9. 経 費

受講料 1名につき、15,000円（消費税を含む。）

受講料及び本研修の受講にあたり必要となる、往復旅費、食費、宿泊費等は、派遣施設もしくは受講者の負担とします。

10. 修了証書

研修修了者には、千葉大学大学院看護学研究科より修了証書を授与します。

1 1. その他

1) 本研修内容に関する問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター 教授 和住淑子

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

T E L : 043-226-2471

F A X : 043-226-2471

e-mail : wazumi@faculty.chiba-u.jp

2) 上記1) 以外の事務的な問い合わせ先

千葉大学看護学部センター事業支援係 (上村、齊藤)

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

T E L : 043-226-2464

F A X : 043-226-2382

e-mail : kango-cqi@chiba-u.jp

〔看護系大学FD企画者研修〕
研 修 内 容

研修・日時	内容	時間
研修Ⅰ 平成30年7月22日(日) 10:00~12:00、13:00~16:00の5時間	オリエンテーション 研修参加動機の確認 自組織の現状、FDニーズを特定するために必要な情報について理解する。	5
研修Ⅱ 平成30年8月22日(水)～ 8月24日(金)	千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター主催の「看護学教育指導者研修(ベーシックコース)」に参加しながら、自大学と臨地実習施設との連携・協働の在り方について考察することを通して、臨地実習施設側のニーズを含む、社会の変化に即した看護学教育を行う上で必要な視点を養う。	15
研修Ⅲ 平成31年2～3月中の1日 (受講者と相談の上、実施日時を決定します)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織分析を通して、自大学の課題およびFDニーズを特定する。 ・看護および看護学の特徴を踏まえた体系的なFD企画の考え方を学び、自大学の実情に即した、中長期的な計画を含むFD計画を立案する。 ・次年度に向けて、自大学で実行可能なFD企画書を作成する。 ・研修に参加した各大学が、現状分析～FD企画書作成までの一連のプロセスについて報告する。 ・自大学の実情に見合った体系的なFDを企画・実施・評価するFD企画者としての能力を評価し、今後の能力開発の方向性を定める。 <p>※研修Ⅲ終了後は、必要に応じて、当センターからの個別支援を受けることができます。</p>	5
計		25